

ネパールに対する「子どもの主体性を培う 『日本型防災教育モデルBOSAI』を用いた 安全で安心な学びの環境づくり支援」パイロット事業

- ◆ GICEでは、文部科学省が実施する「日本型教育の海外展開推進事業（EDU-Portニッポン）」の一環として、ネパールにおける標記の実証パイロット事業を実施している。
EDU-Portニッポン URL: <https://www.eduport.mext.go.jp/>
- ◆ 本事業は、地震復興期にあるネパールにおいて、独立行政法人国際協力機構（JICA）の支援によって実施中の技術協力プロジェクト「小学校運営改善支援（SISM）プロジェクト」が開発した「日本型防災教育モデルBOSAI」を普及する。
JICA SISM2プロジェクト URL :
<https://www.jica.go.jp/project/nepal/006/index.html>
- ◆ 本事業の目的：
 - 震災を経験したネパールにおいて、生徒主導で実践を重視した「日本型防災教育モデルBOSAI」のパイロット事業を行い、有効性を確認・実証する。
 - パイロット事業の成果に基づいて、BOSAIのプロセスや成果遺族性を高めるために不可欠な要件を探求するとともに、アプローチの普遍化へ向けての探求を進める。
- ◆ BOSAIモデルの特徴：
 - 子どもが中心となって安全な学校環境を話し合う仕掛け（マッピング）を提供すること
 - 子どもからアクションを起こし、子どもと保護者、学校と地域社会などの間で安全な学びの環境づくりについて話し合う機会を持つよう促すこと
 - 教室から学校、地域社会を巻き込んで、防災活動の第一歩を行動に移すようにデザインされていること
- ◆ 本事業は、広島大学CICEが中心的役割を担い、国際開発コンサルタント会社（株）国際開発センター（IDCJ）、企画・広告コンサルティング会社（株）アソボット、ネパールNGOのPractical Actionとの共同で実施している。
- ◆ 対象国・対象グループ：ネパール国ダディン郡の公立小中学校
- ◆ 2016年度：ネパール関係者の合意形成、教材印刷、ダディン郡でのモデルのトライアル（対象校2校）、ベースライン調査を実施した。
2016年度実績報告URL : <http://home.hiroshima-u.ac.jp/cice/?p=5726>
- ◆ 2017年度：ネパール・ダディン郡において指導員研修、40校対象のBOSAIワークショップを開催し、優秀校表彰、エンドライン調査を実施する予定である。
- ◆ 広島大学本事業担当者：石田／山根／中家／大関